

## 鏡石町立第一小学校校舎の耐震診断結果について

町では、児童生徒の安全確保を目的に、新耐震基準以前である昭和56年以前に建築された町立第一小学校及び鏡石中学校校舎の耐震強度を調査するため、耐震診断を順次実施しています。今回、町立第一小学校校舎について耐震診断が完了しましたことから結果を報告します。

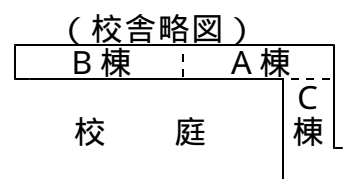
なお、鏡石中学校は、現在耐震診断中ですので、結果がわかり次第報告します。

### 1 鏡石町立第一小学校校舎の概要（昭和56年以前建築分）

- ・ 建築年次 昭和44年～49年に分けて建築
- ・ 構造 鉄筋コンクリート3階建
- ・ 規模 延べ面積 4,283㎡ 3棟

### 2 耐震診断結果

区分階数	建築年	延べ面積	Is値	耐震性ランク	補強等要否
A棟3階	昭和44年	1,651㎡	0.312	C	要
B棟3階	昭和45、49年	1,915㎡	0.432	C	要
C棟2階	昭和47年	717㎡	0.386	C	要



Is値は各棟各階での最低値を示しています。

#### Is値（構造耐震指標）について

建物の強度、建物形状、経年劣化等の要因から決まる建物の耐震性を表す指標で、この指標に応じた耐震性ランクは次表のとおりです。

耐震性ランク	Is値（構造耐震指標）	構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性
A	Is 0.7	大規模な地震の震動及び衝動に対して倒壊し、又は崩壊する危険性が低い。（文科省評価）
B	0.7 > Is 0.6	大規模な地震の震動及び衝動に対して倒壊し、又は崩壊する危険性が低い。
C	0.6 > Is 0.3	大規模な地震の震動及び衝動に対して倒壊し、又は崩壊する危険性がある。
D	0.3 > Is	大規模な地震の震動及び衝動に対して倒壊し、又は崩壊する危険性が高い。

建築物の耐震改修の促進に関する法律に基づく告示（平成18年国土交通省告示第184号）によります。ここでいう「大規模な地震」とは、概ね震度6強以上を想定しています。

#### 補強等の要否

法律上の耐震改修の扱いについては、耐震改修促進法で定められており、Is値0.6以上であれば統計的に被害が少ないという結果が出ています。

しかしながら、学校の場合は公共施設としての重要性から、文部科学省がIs値0.7以上の建物を補強等の必要が無いものとしています。

### 3 今後の耐震補強等について

町立第一小学校については、耐震診断の結果、大規模な地震等により倒壊の危険性が高いIs値0.3未満ではありませんでしたが、安全性を確保するため平成21年度に建物の老朽状況を調査する「耐力度調査」を実施し、耐震性に加え老朽状況を見極めながら耐震補強・改築両面から耐震化計画を進めていきたいと考えています。

問い合わせ先 教育委員会教育課教育グループ

0248-62-3459 FAX0248-62-2190